

べんかから nakagyo じょうし

46号

令和4(2022)年 9月

kyoto
こころつながる
プロジェクト

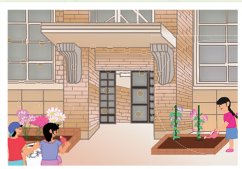
授業ガーデン

授業ガーデンは、それぞれのペースでやりがいや社会との接点を感じられることを目的とした“だれが見に来てもお世話をしてもいいガーデン”です。

平日 / 午前9時～午後5時



共催：京都市中京区社会福祉協議会 / 授業学区社会福祉協議会 協力：京種株式会社



中京区地域福祉センター（元授業小学校）にて実施しています！どなたでも参加可能です！

区社協力カフェ

kyoto
こころつながる
プロジェクト

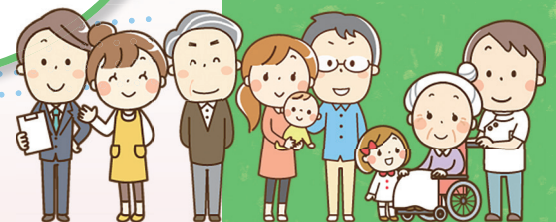
区社協力カフェは分野や事業の垣根を越えて、どなたでも参加いただける場を目指して実施しています。“だれかがそばにいてくれるカフェ”です。

毎月第1木曜日 /
午後1時30分～3時
※コロナの状況により中止の場合有



「kyoto こころつながるプロジェクト」とは、京都市社会福祉協議会、各区社会福祉協議会がすすめる、すべての人が支え合いながら共に生きていく地域共生社会を目指すための取組です。

共に生きる「ふくしのまちづくり」
気づき・認め合う
孤立解消や多様性を尊重する視点から



■編集・発行・問い合わせ■

社会福祉法人 京都市中京区社会福祉協議会 (中京区ボランティアセンター)
〒604-8316 京都市中京区大宮通御池下る三坊大宮町 121-2
中京区地域福祉センター内 (元授業小学校)
TEL. (075) 822-1011 (代表) FAX. (075) 822-1829

検索

中京区社協

<https://nakagyo-syakyo-kyoto.jp/>
Instagram : @nakagyouusyakyō
E-mail : fukusi06@mediawars.ne.jp



コロナ禍でも、地域ができる取組を模索 見直しや対策で、活動継続と安全を両立する工夫を共有しました

学区社協活動交流研修会

新型コロナウイルスの感染拡大は、特に高齢者にとってリスクが高いことから、学区社協は、これまでと同様に事業を継続するのは難しくなりました。活動の休止によって介護予防などの参加機会が減り、周囲の人との“つながり”が希薄になるなど、暮らしの安心や健康維持にも支障がでるようになりました。そこで、コロナ禍でも安全に事業を実施する工夫をテーマに、学区社協活動交流研修会を開催しました。3学区の実践報告では、安全に配慮して事業を継続する方法がないかと悩み、工夫した事例を報告されると、地域のつながりづくりや健康づくりの活動を続けるために、取り入れたいという声も出ました。



学区社協活動交流研修会

感染対策の工夫例

- ・室内から公園に会場を変更
- ・人が多数集まる事業や会議は、2部制に変更
- ・集まる事業ができないため、訪問事業を強化
- ・換気・消毒の徹底や非接触型体温測定機器の導入
- ・役員間の連絡手段としてLINEを活用

感染対策を行った事業の例



広い公園で健康づくり



訪問事業の強化

地域で支え合える仕組みづくりを進めています

中京区地域支え合い活動創出コーディネーターは、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けるため、地域の方や協力者（例えば民間企業や福祉施設）と共に支え合いの仕組みづくりを進めています。

また、ウォーキングマップなど、高齢者のいきがいづくりに役立つ情報や地域の活動をまとめた情報誌を随時発行しております。QRコードよりご覧いただけます。



中京区ボランティアセンター

“中京区ボランティアセンター”は、地域で実施する福祉事業やボランティア活動を支援するための情報提供・相談を行う窓口です。

ボランティア情報

区内のボランティアの情報や各種助成金情報など、団体活動を支援する情報を提供しています。また、ボランティア活動をはじめたいが、どうすれば良いかわからない方のご相談もお受けします。

その他団体活動の相談

ボランティア団体とのネットワークを活かし、他団体とのコラボなどの企画に関する相談もお受けします。事業の立ち上げや、他団体との交流希望など、活動に際してのご希望、困りごとなど、気軽にご相談ください。

団体活動への備品・会議室貸出し

区内を拠点とする地域福祉推進と社会福祉向上を目的とする団体へ支援を行っています。

機 材 コピー機、印刷機、丁合機、紙折り機、プロジェクター、レクリエーション機材、車いす、オンライン機材等

会議室 午前（9時～正午）・午後（1時～5時）
各区分・1室 200円

※詳しくは、お問合せください。

保険の受付

ボランティア活動や主催する行事における事故に備える「ボランティア保険」や「福祉行事保険」などの「福祉の保険」の受付窓口です。

〔福祉教育プログラム〕手話交流が広がっています

●手話が伝わってうれしかった！

昨年度、2つの児童館で「手話で紙芝居」と題した福祉教育プログラムを実施しました。聴覚に障がいのある方を講師に、「手話サークルみみずく・中京屋の部」のサポートのもと、子ども達は、手話で挨拶の仕方を学んだり、体全体を使って表現する大型紙芝居やゲームで楽しみながら、聴覚に障がいのある方の日常や生活について学びました。

「“本”という手話は知らなかったけど自分で考えてやってみたのが正解だったのがうれしかった」「紙芝居と一緒に手話をみるととても分かりやすかった」「もっとお話ししたかった」等の感想が寄せられました。中京区ボランティアセンターと中京区のボランティアグループの連合体である「中京・ゆい」では、この他にも、体験やゲームを通じて福祉を学ぶ「福祉教育プログラム」を用意し、学校や児童福祉施設等からの依頼に応じて区内で福祉教育を推進しています。

手話を交えた
大型紙芝居自分の名前の表現を
教わっている場面

中京区の元気あふれる活動を紹介

区社協では、福祉活動や、まちを元気にする取組などを行う団体に共同募金による活動支援を行っています。その一つの「ハンド&ネイルケアボランティアチーム ガンチャー」は、高齢者施設や地域の集まり等で、手や爪をきれいにすることで「癒し・元気・笑顔」を届ける団体です。先日は、福祉ネイリストの皆さんが、学区社協が主催する高齢者のサロンに出向されました。当日は、初参加の方や男性参加者の姿も見られ、福祉ネイリストさんとの会話や色鮮やかな手元に、「やっ

てもらえてうれしい」、「気持ちまで明るくなった」と笑顔が飛び交いました。役員の方からも「いつもと違うことに取組んでみて、皆さんに喜んでもらえてよかった」との声が聞かれました。



「福祉のまちづくり区民集会」 動画配信中

中京区地域福祉推進委員会では、令和4年2月に「福祉のまちづくり区民集会」を開催しました。今回は、悩みや不安を抱える児童、若者、壮年期の方々と地域とのつながりをテーマに区内で活動される3団体から活動報告をいただきました。中京区で暮らす人、

働く人、通う人など様々な課題や悩みを抱えながら苦しい状況に置かれている方々を支える取組を、動画でも配信しています。右のQRコードからご覧いただけます。是非、ご覧ください。

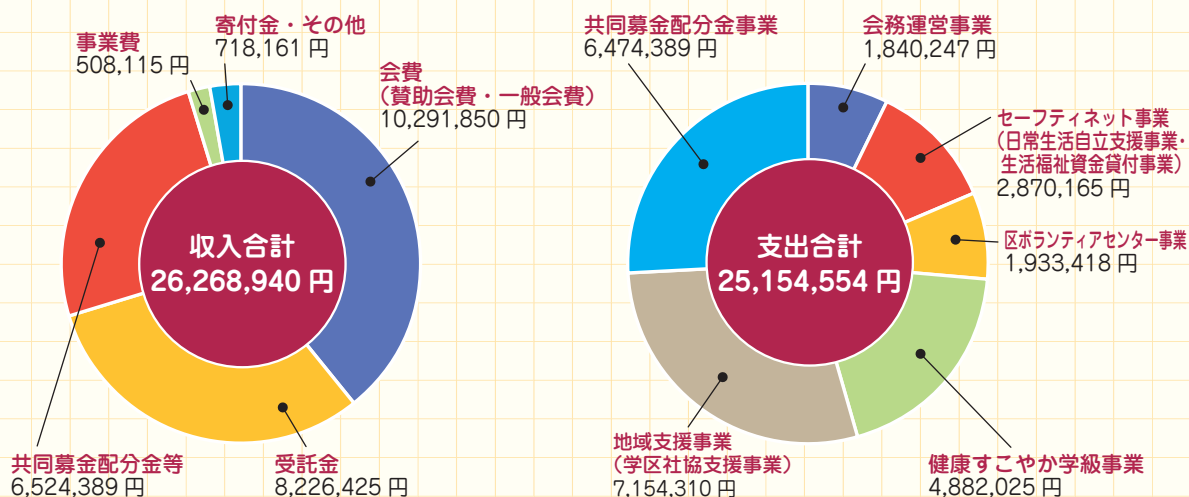


「中京区福祉施設と地域とのつながり取組事例集」

コロナ禍の影響で地域の人と出会う機会も少なくなり、区内の社会福祉法人をはじめとする障がい児者通所施設でも授産製品の売上が減少するなど厳しい状況が続いていることがわかりました。そこで、地域福祉推進委員会では、13の障がい者通所施設の授産製品や地域と施設の取組を冊子にまとめました。冊子を通して、あなたの身近な地域の施設を「知って」、「出会う」、「つながる」福祉のまちづくりにご活用ください。冊子をご入用の方は、区社協までご連絡ください。



中京区社会福祉協議会 令和3年度決算報告



社会福祉協議会 (社協) とは？

社会福祉協議会 (社協) は、社会福祉法に基づく社会福祉法人で、地域福祉の推進を目的としている民間組織です。「住民参加」と「住民主体」の考え方をもとに、中京区内の地域団体・当事者団体・福祉関係団体・ボランティア団体・福祉施設・行政等とネットワークを組み、「福祉のまちづくり」を目指して取り組んでいます。